



Title	平田勝政先生 略歴
Author(s)	
Citation	長崎大学教育学部紀要, 5, p.143-151; 2019
Issue Date	2019-03-01
URL	http://hdl.handle.net/10069/39132
Right	

This document is downloaded at: 2019-06-16T03:12:37Z



平 田 勝 政

1. 略歴

(学歴・職歴)

- 1954 (昭和29) 年 1 月 岡山県倉敷市 (旧・児島市) に生まれる
- 1972 (昭和47) 年 3 月 赤崎小学校、味野中学校を経て、岡山県立児島高等学校卒業
- 1972 (昭和47) 年 4 月 徳島大学教育学部養護学校教員養成課程 (中学部) 入学
- 1977 (昭和52) 年 3 月 徳島大学教育学部養護学校教員養成課程 (中学部) 卒業
- 1982 (昭和57) 年 3 月 埼玉大学研究生を経て、東京都立大学大学院人文科学研究科修士課程 (教育学専攻) 修了 文学修士
- 1988 (昭和63) 年10月 東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程 (教育学専攻) 単位取得満期退学
- 1987 (昭和62) 年 4 月 東京都太田高等保育学院非常勤講師 (1988年10月まで)
- 1988 (昭和63) 年11月 長崎大学教育学部助教授 (障害児教育担当)
- 1993 (平成5) 年 5 月～1994 (平成6) 年 2 月 (10ヶ月) 東京大学社会科学研究所 (西田美昭教授研究室) に内地留学
- 2005 (平成17) 年 4 月 長崎大学教育学部教授
- 2016 (平成28) 年12月 長崎大学大学院教育学研究科教授 (2019年3月定年退職)

(所属学会)

日本教育学会、日本特殊教育学会、日本教育史学会、九州教育学会、日本社会福祉学会、社会事業史学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会

(学会及び社会における主な活動等)

- 1997 (平成9) 年6月 長崎県福祉教育推進委員会委員 (～2003年3月まで)
 1999 (平成11) 年6月 長崎県福祉教育指針策定委員会委員 (～2001年3月まで)
 2003 (平成15) 年4月 大村市就学指導委員会委員・同教育支援委員会委員 (～2016年3月まで)
 2004 (平成16) 年4月 大村市特別支援連携協議会委員 (～2006年3月まで)
 2006 (平成18) 年4月 長崎県教科用図書選定審議会委員 (～2015年3月まで)
 2006 (平成18) 年11月 長崎市障害者施策推進協議会委員 (～現在に至る)
 2010 (平成22) 年4月 長崎県障害児就学指導委員会委員 (～2011年まで)
 2010 (平成22) 年9月 日本特殊教育学会第48回大会実行委員長 (於・長崎大学)
 2011 (平成23) 年5月 社会事業史学会理事 (～2018年5月まで)
 2012 (平成24) 年12月 科学研究費委員会専門委員 (～2014年11月まで)

2. 研究業績 (著書)

(1) 共著・編著

1. (共著) わが国における「精神薄弱」概念の歴史的研究, 多賀出版, 1992年
2. (編著) 長崎・あの日を忘れない～原爆を体験した目や耳の不自由な人たちの証言～, 長崎文献社, 2019年

(2) 共著 (分担執筆)

1. 障害児教育実践体系 第8巻 教育運動, 労働旬報社, 1984年
2. 文化と教育をつなぐ, 国土社, 1994年
3. 東京都教育史 通史編二, 東京都立教育研究所, 1995年
4. 東京都教育史 通史編三, 東京都立教育研究所, 1996年
5. 障害児教育学の現状・課題・将来, 培風館, 1996年 (改訂版2006年)
6. 東京都教育史 通史編四, 東京都立教育研究所, 1997年
7. 講座 転換期の障害児教育 第1巻 特別なニーズ教育と学校改革, 三友社出版, 1999年
8. 障害児教育の歴史, 明石書店, 2003年
9. 優生学と障害者, 明石書店, 2004年
10. セガン～知的障害教育・福祉の源流～ (全4巻), 日本図書センター, 2004年
11. 新長崎市史 (第四巻・現代編), ぎょうせい, 2013年 ※教育分野統括 (小学校・特殊教育執筆)
12. 新長崎市史 (第三巻・近代編), ぎょうせい, 2014年 ※教育分野統括 (小学校・特殊教育執筆)
13. ユネスコ番外地 台湾世界遺産級案内, 中央公論新社, 2017年

(3) 解説・解題

1. 小西信八先生存稿集 (日本教育史基本文献・資料叢書 46) 解説, 大空社, 1997年
2. 文献選集 教育と保護の心理学 (昭和戦前戦中期) 別冊解題, クレス出版, 1998年
3. 文献選集 教育と保護の心理学 (専門雑誌・研究紀要) 別冊解題, クレス出版, 2000年

年

4. 近現代日本ハンセン病問題資料集成（補巻7）台湾のハンセン病政策，編集・解説，不二出版，2005年
5. 知的・身体障害者問題資料集成（戦前編）全16巻，編集協力・解説，不二出版，2005年
6. 近現代日本ハンセン病問題資料集成（補巻16～19）「日本MTL」解説・総目次・索引，不二出版，2009年
- （4）辞典・事典（分担執筆）
 1. 民間学事典 事項編，三省堂，1997年
 2. 民間学事典 人物編，三省堂，1997年
 3. 障害児教育大事典，旬報社，1997年
 4. 社会福祉辞典，大月書店，2002年
 5. 特別支援教育大事典，旬報社，2010年
 6. 新版 教育小事典 第3版，学陽書房，2011年
 7. 明治時代史大辞典<第1巻>あ～こ，吉川弘文館，2011年
 8. 明治時代史大辞典<第2巻>さ～な，吉川弘文館，2012年
 9. 明治時代史大辞典<第3巻>に～わ，吉川弘文館，2013年

3. 研究業績（学術論文）

1. 「科学的教育学」の建設と芸術教育－1910年代（前半）の阿部重孝－「教育科学研究」第2号（東京都立大学人文学部教育学研究室）pp.78～96，1983年3月（単著）
2. 障害概念の教育学的検討「人文学報」第171号（東京都立大学人文学部），pp.101～137，1984年3月（共著）
3. 大正デモクラシー期における川本宇之介の公民教育論と特殊教育「教育科学研究」第4号，pp.13～22，1985年7月（単著）
4. 大正デモクラシー期における文部省社会教育課と特殊教育「教育科学研究」第5号，pp.49～65，1986年7月（単著）
5. 大正デモクラシー期における青木誠四郎の特殊教育観「教育科学研究」第6号，pp.12～22，1987年6月（単著）
6. 障害者問題史研究の動向と課題「障害者問題史研究紀要」第31号（精神薄弱問題史研究会），pp.3～25，1988年4月（共著）
7. わが国における「精神薄弱」概念の歴史的研究Ⅰ－雑誌「児童研究」の分析を中心に－「教育科学研究」第7号，pp.77～106，1988年5月（共著）
8. 大正デモクラシーと盲聾教育－「盲学校及聾啞学校令」の成立過程の分析を通して－「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第37号（長崎大学教育学部），pp.21～44，1989年6月（単著）
9. わが国戦前の精神医学領域における「精神薄弱」概念の歴史的研究－主要な精神医学雑誌の分析を中心に－「特殊教育学研究」第27巻第4号（日本特殊教育学会）pp.33～46，1990年3月（共著）
10. 昭和戦前期における川本宇之介の公民教育論と特殊教育「長崎大学教育学部教育科学

- 研究報告」第39号, pp.67~82, 1990年6月(単著)
11. 川本宇之介の「デモクラシー」論と障害児教育「障害者問題研究」第63号(全国障害者問題研究会) pp.45~62, 1990年11月(単著)
 12. 戦前の教育学分野における「精神薄弱」概念の歴史的研究-教育学者の乙竹岩造と樋口長市の検討を中心に-「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第44号, pp.59~78, 1993年3月(単著)
 13. 戦前の教育実践分野における「精神薄弱」概念の歴史的研究(上)(下)「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第45号,(上) pp.139~152,(下) pp.153~167, 1993年6月(単著)
 14. 戦前の社会事業分野における「精神薄弱」概念の歴史的研究I-社会事業関係雑誌における「精神薄弱」関係用語の検討を中心に-「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第46号, pp.53~65, 1994年6月(単著)
 15. 戦前の社会事業分野における「精神薄弱」概念の歴史的研究II(上)(下)-全国社会事業大会等における「精神薄弱」関係用語・概念の検討-「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第48号(上), pp.73~88, 1995年3月, 第49号(下), pp.59~76, 1995年6月(単著)
 16. 明治期における「精神薄弱」関係用語・概念の研究-「低能児」概念を中心に-「日本教育史研究」第15号(日本教育史研究会) pp.33~65, 1996年8月(単著)
 17. 近代日本における「特殊教育」概念の形成-学校教育法における「特殊教育」概念の歴史的検討-「障害者問題研究」第24巻第4号, pp.4~17, 1997年2月(単著)
 18. 長崎県障害児教育史研究(第I報)-1898年設立の私立長崎盲啞院を中心に-「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第55号, pp.25~34, 1998年6月(共著)
 19. 長崎県障害児教育史研究(第II報)-明治30~40年代における長崎県盲・聾教育を中心に-「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第56号, pp.11~25, 1999年3月(共著)
 20. 長崎県障害児教育史研究(第III報)-大正期の長崎県盲・聾教育を中心に-「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第57号, pp.33~48, 1999年6月(共著)
 21. 長崎県障害児教育史研究(第IV報)-昭和戦前期(1929~1937年)の長崎県盲・聾教育を中心に-「長崎大学教育学部紀要-教育科学-」第58号, pp.29~46, 2000年3月(共著)
 22. 戦前日本における優生学の知的障害者福祉分野への影響に関する歴史的研究「長崎大学教育学部紀要-教育科学-」第60号, pp.37~44, 2001年3月(単著)
 23. 長崎県における障害者プランの現状と課題-教育分野の検討を中心に-「長崎大学教育学部紀要-教育科学-」第61号, pp.17~34, 2001年6月(共著)
 24. 長崎県障害児教育史研究(第V報)-昭和戦中期~戦後初期の長崎県盲・聾教育を中心に-「長崎大学教育学部紀要-教育科学-」第62号, pp.25~32, 2002年3月(共著)
 25. 大日本優生会の研究「長崎大学教育学部紀要-教育科学-」第63号, pp.15~29, 2002年6月(単著)
 26. 戦前日本の盲学校教育における職業教育と進路保障に関する歴史的考察-明治末~昭

- 和戦前期の各種盲教育大会等の議論の検討を通して－「長崎大学教育学部紀要－教育科学－」第65号, pp.29～44, 2003年6月（共著）
27. 全国盲学校における職業教育と進路指導のあり方に関する調査研究（第1報）－教育課程の編成と就業支援の実態を中心に－「長崎大学教育学部紀要－教育科学－」第66号, pp.57～72, 2004年3月（共著）
 28. 長崎県下の盲・聾・養護学校における自立活動の現状と課題－自立活動専任教員配置の意義と役割を中心に－「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第4号, pp.23～33, 2005年3月（共著）
 29. 盲・聾・養護学校における「総合的な学習の時間」の実践と評価－長崎県下18校の実態調査の分析を通して－「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第4号, pp.35～44, 2005年3月（共著）
 30. 全国盲学校における職業教育と進路指導のあり方に関する調査研究（第2報）－重複障害児の職業能力開発と進路保障に関する調査を中心に－「長崎大学教育学部紀要－教育科学－」第70号, pp.33～41, 2006年3月（共著）
 31. 戦前日本の聴覚障害児教育における職業教育と進路保障に関する歴史的考察－明治末～昭和戦前期の各種聾啞教育大会等の議論の検討を通して－「長崎大学教育学部紀要－教育科学－」第71号, pp.1～11, 2007年3月（共著）
 32. 戦前日本におけるモンテッソーリの障害児教育への影響に関する歴史的考察－モンテッソーリ関係文献の整理・検討を中心に－「長崎大学教育学部紀要－教育科学－」第71号, pp.13～21, 2007年3月（共著）
 33. 障害児の「生きる力」を育む教育課程に関する研究－長崎県下の盲・聾・養護学校の検討を通して－「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第6号, pp.27～35, 2007年3月（共著）
 34. 長崎県内の小・中学校における特別支援教育に関する調査研究「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第6号, pp.37～47, 2007年3月（共著）
 35. 長崎県肢体不自由教育研究（第1報）－県下肢体不自由養護学校要覧（1964～2006年度）の検討を中心に－「長崎大学教育学部紀要－教育科学－」第72号, pp.21～28, 2008年3月（共著）
 36. 長崎県離島地区の小・中学校における特別支援教育に関する調査研究「長崎大学教育学部紀要－教育科学－」第72号, pp.29～36, 2008年3月（共著）
 37. 長崎県の特別支援学校における視覚に障害のある児童生徒の実態に関する調査研究「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第7号, pp.45～56, 2008年3月（共著）
 38. 長崎県における特別支援教育の実態と課題に関する小学校と中学校の比較・検討「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第7号, pp.57～66, 2008年3月（共著）
 39. 長崎県の肢体不自由教育における障害の重度重複化の検討「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第7号, pp.67～75, 2008年3月（共著）
 40. 1920年代の台湾におけるハンセン病問題に関する研究「研究論文集－教育系・文系の九州地区国立大学間連携論文集－」第2巻第2号, pp.1～11, 2009年3月（単著）
 41. 長崎県肢体不自由教育研究（第2報）－県下肢体不自由養護学校における障害の重度重複化に対応した教育課程の発展－「長崎大学教育学部紀要－教育科学－」第73号,

- pp.43～54, 2009年3月 (共著)
42. 人工内耳装用児F児の特別な教育的ニーズと適切な支援に関する実践的研究「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第8号, pp.43～54, 2009年3月 (共著)
 43. 日本ハンセン病社会事業史研究 (第1報) - 1922年のディーン博士来日とその治療解放主義の影響の検討 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 -」第73号, pp.31～42, 2009年3月 (単著)
 44. 日本ハンセン病社会事業史研究 (第2報) - 民間の隔離主義運動の成立・展開過程の検討 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 -」第74号, pp.1～15, 2010年3月 (単著)
 45. 全国盲学校における視知覚の認知に障害のある幼児児童生徒への教育的支援に関する調査研究「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第9号, pp.17～32, 2010年3月 (共著)
 46. 日本ハンセン病社会事業史研究 (第3報) - 治療解放主義の系譜 (楽生病院) の検討 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 -」第75号, pp.25～34, 2011年3月 (単著)
 47. 知的障害特別支援学校高等部の教育課程と中学校との連携・接続の在り方に関する実践的研究 - 長崎市内におけるニーズを踏まえて - 「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第10号, pp.17～32, 2011年3月 (共著)
 48. 日本ハンセン病社会事業史研究 (第4報) - 治療解放主義の形成と軽快退所問題の検討 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 -」第76号, pp.31～41, 2012年3月 (単著)
 49. 今後の盲学校・視覚障害教育の在り方に関する調査研究「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第11号, pp.111～128, 2012年3月 (共著)
 50. 日本ハンセン病社会事業史研究 (第5報) - 1920年代における希望社のハンセン病救済運動の検討 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 -」第77号, pp.35～50, 2013年3月 (単著)
 51. 日本ハンセン病社会事業史研究 (第6報) - 希望社地方支部のハンセン病救済運動と十坪住宅の成立 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 -」第78号, pp.41～48, 2014年3月 (単著)
 52. 長崎県障害児教育史研究 (第VI報) - 戦前の長崎市における知的障害・病弱教育を中心に - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 -」第78号, pp.49～55, 2014年3月 (単著)
 53. 特別支援学校高等部における福祉科の実践動向 - 知的障害を中心に - 「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第13号, pp.91～107, 2014年3月 (共著)
 54. 日本ハンセン病社会事業史研究 (第7報) - 希望社のハンセン病救済運動と「らい予防デー」の成立 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 -」第79号, pp.65～76, 2015年3月 (単著)
 55. 全国と長崎の高等特別支援学校におけるキャリア教育の実践動向 - 知的障害教育における福祉科を中心に - 「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第14号, pp.107～120, 2015年3月 (共著)
 56. 1930年代の地方優生運動と障害者の人権 - 1931年夏来日のジョンソン博士の優生学講演活動とその影響の検討 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 -」第80号, pp.47～

- 55, 2016年3月(単著)
57. 日本ハンセン病社会事業史研究(第8報) - 「らい予防デー」の成立過程の検討 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第80号, pp.57~65, 2016年3月(単著)
58. 九州における希望社運動の研究 - 希望社九州聯盟の検討を中心に - 「九州教育学会研究紀要」第43巻(九州教育学会) pp.65~72, 2016年8月(単著)
59. 日本ハンセン病社会事業史研究(第9報) - ラジオ放送に見る「らい予防デー」の展開過程の検討 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第81号, pp.121~130, 2017年3月(単著)
60. Unosuke Kawamoto's Life and His Contribution to Special Education in Japan, *Journal of Special Education Research*, 6(1) (The Japanese Association of Special Education), pp.55~58, 2017年8月(単著)
61. 日本の優生思想と障害者福祉・教育への影響(『発達障害白書 2018年版(特集・津久井やまゆり園殺傷事件を考える)』所収), pp.12~15, 2017年9月(単著)
62. 岩下壯一とハンセン病 - 祖国浄化論の検討 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第82号, pp.73~85, 2018年2月(単著)
63. 1930年代の地方優生運動と障害者の人権(第2報) - 愛知県の検討 - 「長崎大学教育学部教育実践研究紀要」第17号, pp.147~154, 2018年3月(単著)
64. 1930年代の東京におけるハンセン病救済運動と「らい予防デー」 「東京社会福祉史研究」第12号(東京社会福祉史研究会) pp.47~57, 2018年5月(単著)
65. 後藤静香とハンセン病 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第83号, pp.153~166, 2019年3月(単著)
66. 優生保護法と障害者の人権 - 1950年代の断種(去勢)事件の検討 - 「長崎大学教育学部教育実践研究紀要」第18号, pp.147~155, 2019年3月(単著)

4. 研究業績(その他)

(1) 文献目録・年表

1. 障害者問題史文献目録と解説「障害者問題研究」第13号, pp.73~90, 1978年1月(共著)
2. 障害児教育義務制関係文献目録「教育学研究」第46巻第2号(日本教育学会) pp.146~161, 1979年6月(共著)
3. 阿部重孝文献目録「教育科学研究」第2号, pp.135~145, 1983年3月(共著)
4. 障害者問題史文献目録「障害者問題研究」第36号, pp.81~100, 1984年1月(共著)
5. 長田新文献目録(案)「教育科学研究」第3号, pp.57~74, 1984年7月(共著)
6. 特殊教育関係文献目録(一般部門)「特殊教育学研究」第24巻第1号(日本特殊教育学会) pp.82~94, 1986年6月(共著)
7. 川本宇之介文献目録「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第39号, pp.83~106, 1990年6月(単著)
8. 戦前日本の「精神薄弱」関係資料目録(I) - 教育雑誌を中心に - 「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第39号, pp.107~131, 1990年6月(単著)

9. 近代日本障害児教育史関係文献目録「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第43号, pp.89~118, 1992年6月(単著)
10. 戦前日本の「精神薄弱」関係資料目録(Ⅱ) - 社会事業関係雑誌を中心に - 「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第45号, pp.131~138, 1993年6月(単著)
11. 乙竹岩造文献目録(上)(下)「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第50号, pp.65~76, 1996年3月, 第51号, pp.57~63, 1996年6月(共著)
12. 長崎県障害児教育史資料目録 - 戦前・盲聾教育編 - 「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第51号, pp.65~72, 1996年6月(共著)
13. 樋口長市文献目録「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第52号, pp.25~39, 1997年3月(単著)
14. 近代日本障害児教育史関係文献目録(Ⅱ)「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第53号, pp.61~70, 1997年6月(単著)
15. 戦前日本の「精神薄弱」関係資料目録(Ⅲ) - 心理学関係雑誌を中心に - 「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第53号, pp.71~78, 1997年6月(単著)
16. 城戸幡太郎文献目録(戦前編)「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第59号, pp.17~32, 2000年6月(単著)
17. 戦前日本の優生学関係資料目録(Ⅰ) - 社会事業雑誌編 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第60号, pp.45~51, 2001年3月(単著)
18. 戦前日本の優生学関係資料目録(Ⅱ) - 教育雑誌編 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第62号, pp.33~40, 2002年3月(単著)
19. 戦前の東京市特別学級(補助学級)関係資料目録「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第64号, pp.29~42, 2003年3月(単著)
20. 戦前日本の優生学関係資料目録(Ⅲ) - 心理学・医学雑誌編 - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第67号, pp.13~20, 2004年6月(単著)
21. 日本優生運動史年表(戦前編) - 障害者の教育・福祉との関連で - 「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第67号, pp.21~28, 2004年6月(単著)
22. 海野幸徳文献目録「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第68号, pp.11~25, 2005年3月(単著)
23. 日本の植民地下台湾におけるハンセン病問題資料目録「長崎大学教育学部紀要 - 教育科学 - 」第70号, pp.43~48, 2006年3月(単著)
24. 神山復生病院所蔵のハンセン病関係新聞記事目録 - 朝日新聞を中心に - 「長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要」第16号, pp.388~400, 2017年3月(単著)

(2) 書評・巻頭言など

1. (書評) 八木英二著『国際障害者年』「教育学基礎理論研究」第8巻第4号(通巻第63号), pp.28~30, 1980年11月
2. (書評) 荒川勇著『戦後盲聾教育の運動と制度的整備』「障害者問題研究」第21巻第4号(通巻76号), pp.96~98, 1994年2月
3. (書評) 小川利夫・高橋正教編著『教育福祉論入門』「SNE ジャーナル」第6巻第1号, pp.188~192, 2001年3月

4. (書評) 輪倉一広著『司祭平服と癩菌－岩下壯一の生涯と救癩思想－』(吉田書店) 2015年3月, 「社会事業史研究」第49号(社会事業史学会), pp.73～78, 2016年3月
5. (寄書) 第10号に寄せて～「東京社会福祉史研究」とは何か～「東京社会福祉史研究」第10号, pp.7～8, 2016年5月
6. (図書紹介) 近藤益雄著『この子らも・かく』ほか一連著作～一人一人の「人間のぬうち」を高め、認め合うために～「障害者問題研究」第44巻第4号, pp.74～78, 2017年2月
7. (巻頭言) 「非戦と福祉」に思う「社会事業史研究」第51号, pp.6～7, 2017年3月
8. (アーカイブス紹介) 後藤静香記念館「社会事業史研究」第53号, pp.134～137, 2018年3月

(3) 科学研究費補助金(研究代表のみ)

1. 基盤研究(C)(2) 平成14～16年度『日本における優生学の障害者教育・福祉への影響とその克服過程に関する研究』(課題番号:14510300)(研究代表) 3,100千円
→研究成果報告書『日本における優生学の障害者教育・福祉への影響とその克服過程に関する研究』(A4版・全114頁) 2005年5月発行
2. 基盤研究(C)(一般) 平成20～22年度『日本ハンセン病社会事業における隔離監禁主義と治療解放主義の相克過程に関する研究』(課題番号:20530507)(研究代表) 3,500千円
3. 基盤研究(C)(一般) 平成23～28年度『日本的ハンセン病社会事業成立史研究—隔離主義と治療主義の相克過程の検討を通して—』(課題番号:23530724)(研究代表) 3,800千円

